

きらく会だより

平成29年
2月21日(火)

兵庫教育大学大学院同窓会京都支部「京都府嬉洛会」

ごあいさつ

このたび、「きらく会だより」を発行することとなりました。京都府嬉洛会（きらくかい）は、兵庫教育大学大学院同窓会の京都支部として、平成2年に活動を開始しました。以来、兵庫教育大学大学院で学んだ京都府の教員や、兵庫教育大学大学院を修了後に京都府の教員として採用された方を中心に活動しています。ともに京都府の教育の発展を願うものが集い、大学院修了後も真理を探究する心を忘れず、すぐれた教育実践を展開するための情報交換の場でありたいと考えています。現在のところ、年に一回の総会／教育学実践研修会／懇親会を行っています。今回は、平成29年2月12日（日）にアパホテル京都駅前にて実施しましたのでその様子をお知らせします。

平成28年度会長 大森直也（京都府立宇治支援学校 第21期 障害児教育）

総会

総会では、事業報告ならびに昨年度の決算報告を行い、全会一致で承認されました。また、兵庫教育大学大学院同窓会事務局に活動費の申請を行い、補助金を受けた旨が報告されました。なお、役員的位置づけについての意見が出されましたが、引き続き審議を行い、次年度には整理することを確認しました。



アパホテル京都駅前 会議スペースにて

教育実践学研修会

<研修1>

「応用行動分析を使った指導について」
京都府立中丹支援学校 教諭 南田高典

南田先生は、兵庫教育大学大学院の臨床心理学科で、井上雅彦研究室に所属し、応用行動分析(ABA)を学びました。特別支援学校に戻ってからも、学んだ知識を生かした実践を進めています。今回は、「行動は環境との相互作用である」という基礎的な考え方に加え、実際の指導を例に挙げて説明をしていただきました。

<研修2>

「喫緊の教育課題について」
京都府立宇治支援学校 総括主事 大森直也

大森会長からは、茨城県つくば市の教員研修センターでの中央研修（1/10～27）の報告がありました。3週間の研修の内容とともに、冒頭には、自然に包まれたつくばでの生活の様子の紹介がありました。

研修内容は、文部科学省初等中等教育局教職員課 佐藤光次郎氏の講義を中心に、次期指導要領の改訂に関する話でした。「アクティブラーニング」「カリキュラムマネジメント」「チーム学校」といったキーワードの説明を聞き、授業改善や学校マネジメントの流れを感じました。特に、子どもたちのみならず、指導者に「答えのない課題」に最善解を導くことができる能力が求められるという言葉は印象に残っています。

さらに、平成30年度に実施される、高等学校の通級指導教室について、学校教育法施行規則の一部改正資料を使っての説明もありました。いずれの情報も、間近に迫った課題であり、多くのヒントを得る機会となりました。

おわりに

京都府嬉洛会は、今後も京都府の教育実践の向上を願い、現役OB問わず、様々な情報交換の場としていきたいと思えます。年に1回の総会、研修会を実施しますので、今回御都合が合わなかった方も、ぜひ御参加ください。

今回配布の資料については、資料ごとの利用規定に基づいて、御自身の実践に大いに役立ててください。

事務連絡

皆様から近況報告など募集いたします。また、先生方で「是非次回の研修会で発表したい！」と希望される方は、ご連絡お待ちしております。

きらく会だよりの送付についてのお問い合わせは下記にお願いします。

連絡先 庶務：奥澤嘉久
（京都府総合教育センター北部研修所）
yokuzawa@kyoto-be.ne.jp